

## 佐世保中央エリア

## 佐世保中央地域

## 概要及び特性

佐世保中央地域は市役所本庁管轄を対象とし、人口が約8.9万人、面積が約47.8km<sup>2</sup>、人口密度が1,866人/km<sup>2</sup>です。人口密度は、市平均（612人/km<sup>2</sup>）を大きく上回り、市内で最も高くなっています。商業地・工業地及び住宅地は、佐世保中央地域に集中しています。

公共交通機関は、JR佐世保線、松浦鉄道の佐世保駅や佐世保港など、市の玄関口となる機能を有しています。

中心部には、市役所・アルカスSASEBO・島瀬美術センター・市立図書館など主な公共施設が集中する地域です。

このように、地域の中心部は、地域間のネットワークをみても、市全体及び周辺市町を含む広域的な圏域における中核を担う拠点（都市核）となっています。

## 人口変化

中心市街地では中高層住宅や密集した住宅地が広がっており、人口が増加している地区もありますが、地域全体の人口は、減少傾向にあります。

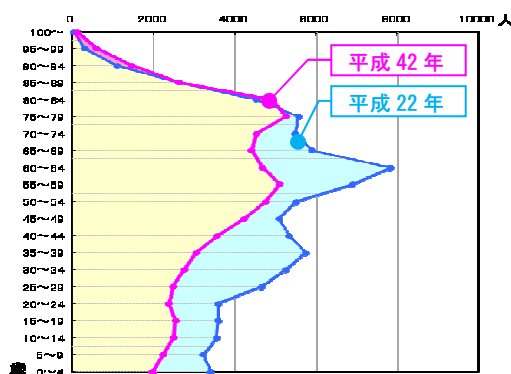
今後の人口推計をみると、約2.3万人（約26%）減少し、今まで以上に減少することが予測されます。

人口構成をみると、高齢人口、生産年齢人口及び年少人口は、全世代で減少となっています。年齢別でみると、79歳以下の人口が軒並み減少すると予測されます。

地域住民の動きをみると、昼間、通勤・通学で本地域内に入ってくる人が多く、昼間人口が多くなっています。

## 佐世保中央エリア(佐世保中央地域)

2010年 (H22年)	2030年 (H42年)	人口増減	増減率
89,166人 (34.2%)	66,223人 (31.0%)	-22,943人 (48.4%)	-25.7%



	2010年 (H22年)	2030年 (H42年)	人口増減 構成比増減
高齢人口 (65歳～)	25,575人 28.7%	23,914人 36.1%	-1,661人 +7.4
生産年齢人口 (15～64歳)	53,423人 59.9%	35,583人 53.7%	-17,840人 -6.2
年少人口 (0～14歳)	10,168人 11.4%	6,726人 10.2%	-3,442人 -1.2

## 公共施設の配置状況及び整備状況

## 【配置状況】

佐世保中央地域は、市役所、市立図書館及び中央公民館等、市全体の行政サービスの中心となる施設が集積しています。また、人口が集中していることから、学校施設及び集会施設が多く配置されています。

地域内でも、佐世保湾を中心とした平野部(市街地)に集積して公共施設を配置しています。

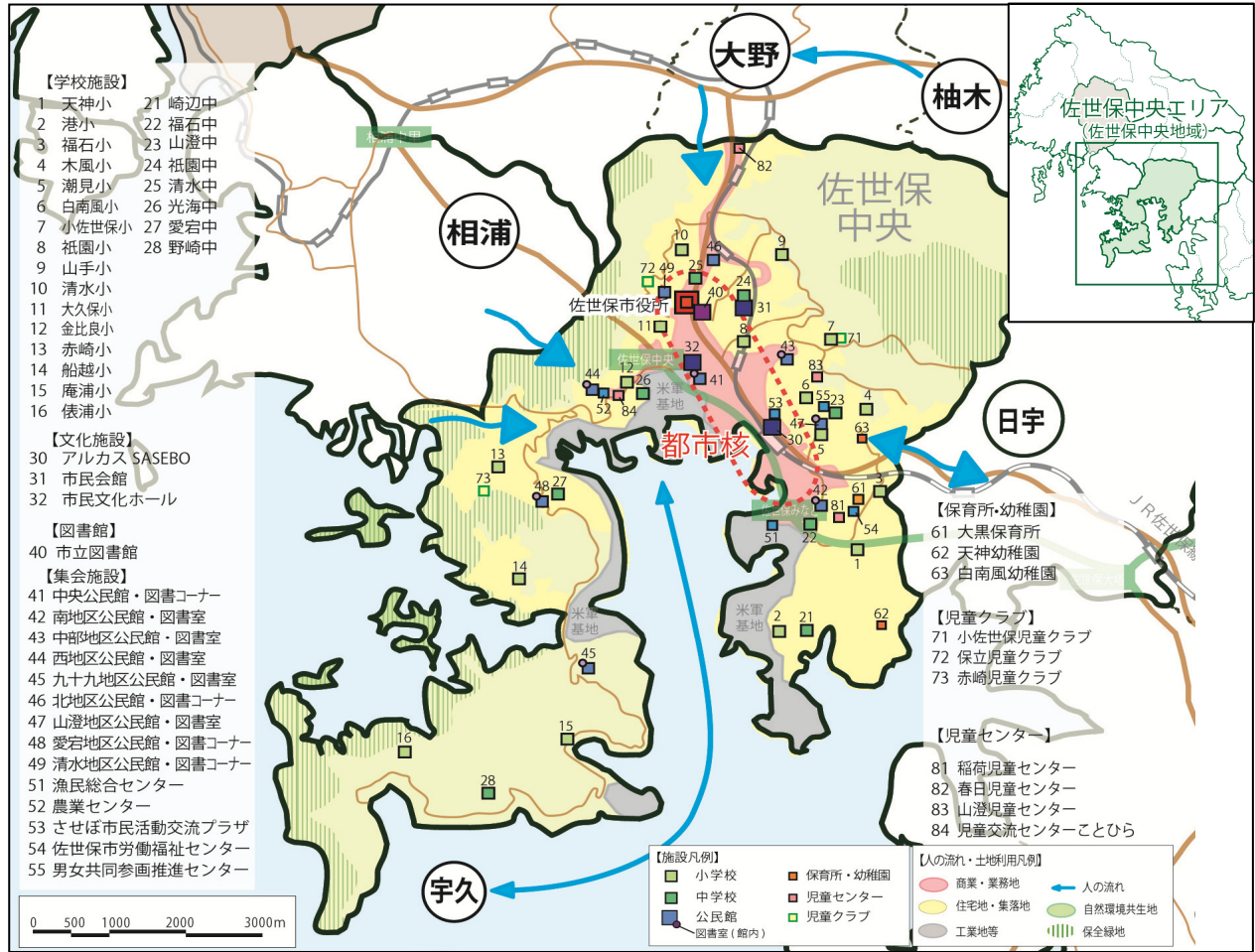
## 【整備状況】

地域内の公共施設は延45.6万m<sup>2</sup>と、市全体の約36%を占めています。地域住民1人当たり5.1m<sup>2</sup>となっています。築年別整備状況を見ると、旧耐震基準の建物が約40%となっており、学校教育施設や市営住宅等が多くなっています。また、市役所や市民会館等、市の行政サービスの中心となる施設の老朽化が進んでいます。

図表 配置図（佐世保中央エリア（佐世保中央地域））

※配置図には主な施設を掲載しています。

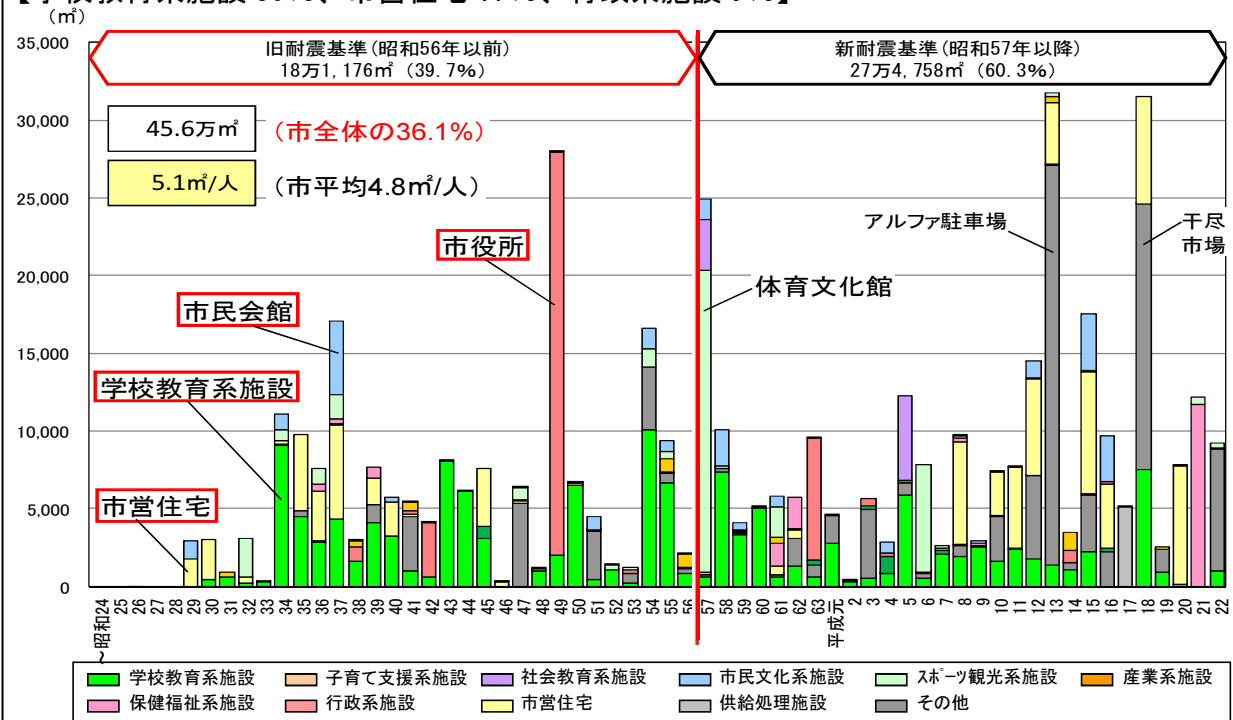
※「人の流れ」は、都市計画マスタープランの都市軸等とは異なり、一般的な人の流れを示すものです。



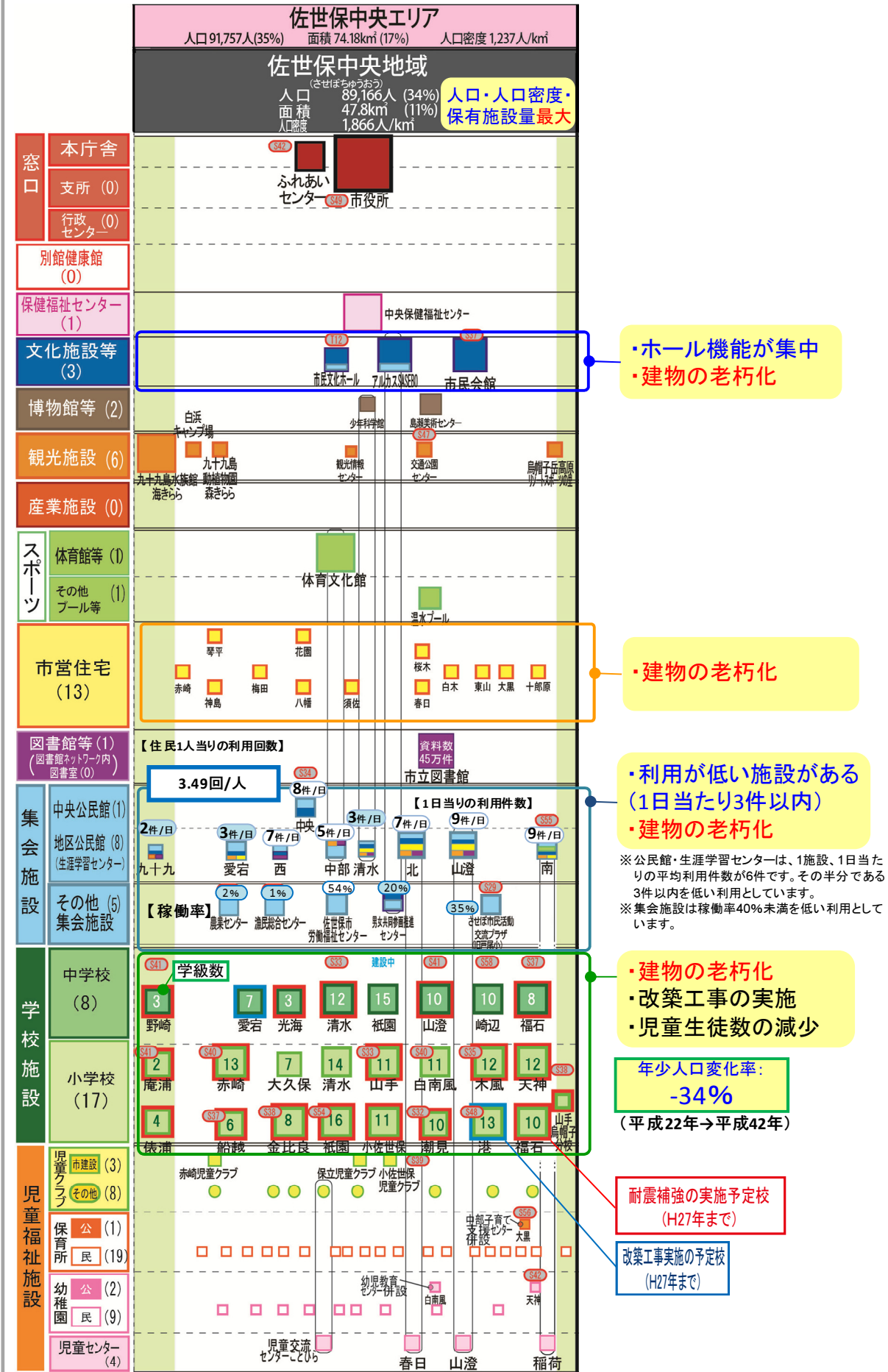
図表 築年別整備状況

<佐世保中央エリア：佐世保中央地域>

【学校教育系施設 30%、市営住宅 17%、行政系施設 9%】



図表 地域実態マップ



## 主な公共施設の状況

### 【公民館・生涯学習センター】

公民館・生涯学習センターは、中学校区に1施設を基本に整備しており、本地域には、中央公民館1施設、地区公民館8施設の計9施設あります。このうち、中央公民館、中部地区公民館及び南地区公民館は、今後耐震化及び建替え又は大規模改修等の老朽化対策が必要となっています。

また、利用状況をみると、利用件数が1日当たり3件を下回るような、低い利用となっている施設があります。今後、稼働状況を的確に把握するなど、施設ごと及びエリア全体での利用者ニーズを把握することが必要です。

### 【小学校・中学校】

学校施設は、小学校が17校、中学校が8校の計25校あります。このうち、平成27年度までに耐震化又は、大規模改修等の老朽化対策の実施を予定する学校が19校あります。また、山手小学校烏帽子分校は、平成23年度より休校、同年度末に廃校となっているため計上から除いています。

また、10学級を下回る小規模校があり、祇園中学校は統廃合が行われたばかりです。今後の年少人口変化をみると、約34%減少することが予測されており、さらに児童生徒数が減少することが予測されます。

### 【文化施設】

文化施設は、アルカスSASEBO、市民会館及び市民文化ホールの3施設が集積しています。このうち、アルカスSASEBOを除く2施設は、今後、耐震化及び建替え又は大規模改修等の老朽化対策が必要となっています。

また、利用状況をみると、市民会館は、利用件数が増加傾向にあるものの、利用者数が減少しています。

## 今後の検討の視点

### 【耐震化・老朽化への対応】

本地域では、市役所、公民館・生涯学習センター、小学校・中学校、文化施設及び市営住宅等、本地域内の約40%の施設に対して、今後耐震化及び建替え又は大規模改修等の老朽化対策が必要となります。その際は、建物のライフサイクルを通じた効率化を検討するとともに、周辺の公共施設の老朽化状況等を踏まえた効率化を検討する必要があります。

### 【市民ニーズに応じた施設配置・整備への対応】

公民館・生涯学習センター及び集会施設では、利用状況が低くなっている施設があります。また、市営住宅では、高齢者向けの住宅需要が増加しています。今後、人口が約26%減少する中、用途ごとのニーズを的確に把握し、利用状況を向上させると共に、そのニーズに応じた施設配置・整備を検討する必要があります。

### 【人口構成の変化等による施設の有効活用】

本地域は、今後20年間で人口が約26%減少すると予測されること及び、年少人口変化をみても約34%減少すると予測されることを考慮し、保有施設の効率的な施設整備や利用機能の見直しなどによる施設の有効活用を検討する必要があります。有効活用の方策としては、人口減少及び人口構成の変化により生じる可能性のある施設の余剰スペースを活用するなど、多様な方策の検討が求められます。